

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

ミクロンガード[®]

浸透性吸水防止材



エスケー化研

はじめに

ミクロンガードはシラン系化合物で、透明な弱溶剤形の浸透性吸水防止材です。コンクリート、セメントモルタル、セメント系二次製品などの内部に深く浸透し、化学反応によって強力な厚い防水層を形成します。

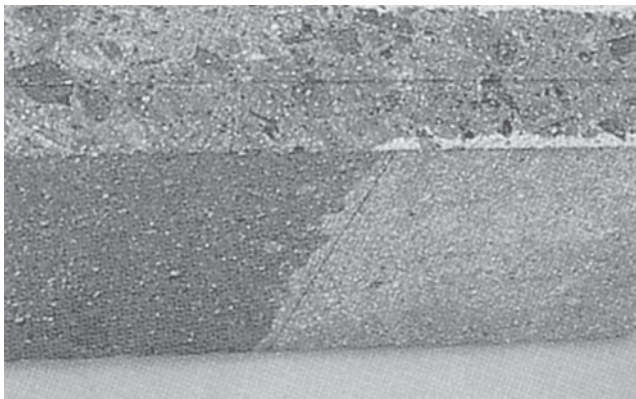
ミクロンガード塗付後の躯体内部に形成された防水層は長期に亘って雨水の浸入を防止し、塗付後の躯体内部の腐食劣化、エフロレッセンスの生成、汚れなどを防ぎます。またこの防水層は躯体本来の通気性を保持しているため、撥水性がありながら水蒸気などの気体を自由に通過させます。従ってミクロンガード塗付後の躯体内部に湿気が異常に溜まることもありません。



特長



▲ 撥水性



▲ 浸透性

1. 吸水防止持続性

コンクリート、セメントモルタル、セメント二次製品など無機質基材に対し吸水防止効果を発揮します。

2. 長期耐久性

耐紫外線性、耐候性に抜群の性能を発揮し、長期に亘り変色しません。

3. 耐汚染性、耐風化防止性

躯体内部に深く浸透し防水層を形成するため、エフロレッセンスの流出を防水層境界内側にとどめ、汚染を防止します。さらに仕上材の浮き、膨れ、剥がれなどの悪影響を防止し、表面の風化・劣化を防止します。

4. 耐アルカリ性、耐酸性、耐塩水性

セメントなどの強アルカリや、強酸、また、塩水に対しても影響を受けにくく下地基材を保護します。

5. 防水性と通気性維持

水の浸入を防ぎ、通気性を維持させます。

6. 抜群の浸透性

セメント系などの無機質基材への浸透性が非常に優れています。

標準施工仕様

適用下地：打放しコンクリート

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)		備 考
					工程間	最終養生	
1 素地調整	エフロレッセンス、レイトランス、ごみ、汚れなどを完全に除去し、十分に乾燥させてください。 (含水率 10%以下、pH10以下としてください。)						
2 吸水防止処理	ミクロンガード	既調合	0.2~0.3	2~3	0.25以内	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅: 25~30cm

※ミクロンガードは浸透形ですので追いかけて塗りが可能です。一回塗り後、工程間隔時間を空けすぎると、二回塗り以降、浸透しにくくなりますので、追いかけて塗りをしてください。

※下地の吸込みが多い場合は、三回塗りをしてください。

※塗装面が乾燥すると未塗装面との区別がつきにくくなりますのでスパン毎に塗付してください。

※下地基材により所要量と塗回数が変わりますので、乾燥後に水をかけて下地が濡れ色にならないことを確認して決めてください。

標準施工要領

1. 事前調査

- 1) 基材の種類によって施工の工程、所要量、施工時間（養生）などが変わりますので事前にそれぞれの項目を十分確認してください。
- 2) 処理面に旧塗膜がある場合は、使用を避けてください。

2. 素地調整

- 1) 処理面の付着物（ほこり、油污れなど）は完全に除去し、水洗後は完全乾燥を行ってください。
- 2) 処理面は平滑で均一な状態にしてください。
- 3) 処理面以外は必ず養生してください。

3. 施 工

- 1) ミクロンガードは既調合のため希釈せずそのまま使用してください。
- 2) 塗装方法はスプレー、刷毛、ウールローラーが可能です。施工環境に合わせて使い分けてください。
- 3) 所要量と塗回数は下地基材の種類により変わりますので十分に注意してください。
- 4) 塗装処理面が乾燥すると未塗装面との区別がつきにくくなりますので、中断することなく連続して1スパン毎に塗装してください。
- 5) ミクロンガードをむらなく均一に塗付するため、2~3回に分けて下地基材に十分浸透するよう塗装してください。

4. 検 査

ミクロンガード塗装面は 20℃、4~6 時間で十分な効果を発揮します。塗装面に水をかけることにより、撥水状態を確認してください。

対象下地基材及び標準所要量

対象下地基材	標準所要量 (kg/m ²)
打放しコンクリート*	0.2~0.3
セメントモルタル	0.1~0.3
ALCパネル	0.2~0.4
レンガ	0.2~0.3
コンクリートブロック	0.2~0.4
けい酸カルシウム板	0.2~0.4
スレート板	0.2~0.4

※RC下地の場合の標準所要量です。PC下地の場合、所要量の目安は 0.16~0.24kg/m²です。

尚、基材の状態により、所要量は増減します。
注)撥水性については、基材により異なります。

各種性能

日本建築仕上材工業会規格 NSKS-004 浸透性吸水防止材による物性効果

試験項目	結果	規定	試験方法
透水性	0.01	0.1以下	24時間静置後のメスピペットの水頭の高さの変化より透水比を算出
吸水性	0.05	0.1以下	24時間後の吸水量より吸水比を算出
温冷繰返し作用に対する抵抗性	0.09	0.1以下	20℃18時間、-20℃3時間、50℃3時間を1サイクルとして10サイクル繰返し、1時間後の吸水量より吸水比を算出
遮塩性	0	3mm以下	2.5%塩化ナトリウム水溶液に7日間浸漬後の浸透深さを測定
耐アルカリ性	0.03	0.1以下	水酸化カルシウム飽和水溶液に7日間浸漬し、1時間後の吸水量より吸水比を算出
耐候性	0.01	0.1以下	サンシャインカーボンアーク灯(WS形)を250時間照射し、1時間後の吸水量より吸水比を算出
塗付後の外観	変化なし	変化がないこと	試料塗付2週間後の外観を目視で観察
浸透深さ	2.3mm	2mm以上	試料塗付2週間後の浸透深さを測定

なお、透水比、吸水比は以下の式によって算出した。

$$\text{透水比} = \frac{\text{試料を塗付したものの透水量 (ml)}}{\text{試料を塗付しないものの透水量 (ml)}} \quad \text{吸水比} = \frac{\text{試料を塗付したものの吸水量 (g)}}{\text{試料を塗付しないものの吸水量 (g)}}$$

荷姿及び性状

●荷姿：ミクロンガード 16ℓ (12.4kg) 石油缶、4ℓ (3.1kg) 缶

外 観	無色透明溶液	比 重	約 0.78 (25℃)
成 分	シラン系化合物	引 火 点	約 42℃
消 防 法	第四類第二石油類	有 機 則	第三種有機溶剤等

〔危険情報と安全対策〕

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。また、ミクロンガードは溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途施工仕様書等をご確認ください。

〔施工後の注意〕

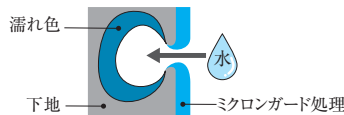
本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

施工上の注意点

- ミクロンガードが浸透しない下地基材には効果がありませんので、使用を避けてください。
- 塗装に使用した器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。十分に洗浄しないまま他の材料を使用すると、ハジキを生じる原因になります。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃ 以下、湿度 85% 以上での施工は原則的に避けてください。気温 5℃ 以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を 5℃ 以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合がありますので、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- かび、藻が付着している場合は、「SKK カビ除去剤 #5 (塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境 (温度、湿度、換気、風通しやすさ) によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 最終養生の時間内には、降雨、結露などがあれば、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- ゴムやプラスチック等、可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。

ご注意ください

巣穴・ジャンカ・ひび割れがある場合は、あらかじめ補修を行ってください。特に、表面上は小さい巣穴でも、中が大きな空洞になっている場合は、ミクロンガードの効果が十分発揮されず、降雨などにより巣穴周辺が濡れ色になることがありますので、十分な補修が必要になります。詳細は最寄りの営業所へお問い合わせください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601 国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000	千葉支店 ☎043-304-0411	名古屋支店 ☎052-561-7712	神戸支店 ☎078-671-0451	福岡支店 ☎092-629-3427
仙台支店 ☎022-259-2431	埼玉支店 ☎048-686-2391	京都支店 ☎075-646-3967	広島支店 ☎082-943-5043	
東京支店 ☎03-3204-6601	横浜支店 ☎045-820-2400	大阪支店 ☎072-621-7721	高松支店 ☎087-665-5411	
旭川営業所 ☎0166-51-8094	水戸営業所 ☎029-251-6515	横浜営業所 ☎045-820-2400	三重営業所 ☎059-254-3777	松山営業所 ☎089-958-3780
仙台営業所 ☎022-259-2431	宇都宮営業所 ☎028-657-5555	横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525	大阪営業所 ☎072-621-7722	北九州営業所 ☎093-621-6505
仙台住宅開発営業所 ☎022-988-8518	軽井沢一上営業所 ☎03-3204-6601	厚木営業所 ☎046-294-3666	大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747	福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3955	東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602	静岡営業所 ☎054-284-1877	南大阪営業所 ☎072-253-1910	福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8390	千葉営業所 ☎043-304-0411	浜松営業所 ☎053-462-7021	神戸住宅開発営業所 ☎078-671-0451	大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673	千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413	三河営業所 ☎0564-28-1614	姫路出張所 ☎079-281-5311	長崎営業所 ☎095-887-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551	埼玉営業所 ☎048-686-2391	北陸営業所 ☎076-266-1041	岡山営業所 ☎086-242-5520	熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350	埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586	名古屋営業所 ☎052-561-7712	広島営業所 ☎082-943-5043	鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210	城東営業所 ☎03-3877-7770	石川住宅開発営業所 ☎052-589-8783	広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053	宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677	三多摩営業所 ☎042-564-5806	岐阜営業所 ☎058-273-1981	山口営業所 ☎083-924-7575	沖縄営業所 ☎098-862-5041

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店